



BUSINESS REPORT

第114期 報告書

株主の皆さまへ

2023年12月1日から2024年11月30日まで

津田駒工業株式会社

～最高の品質を目指し
社会に貢献する～

代表取締役会長兼社長

高納 伸宏



2024-2026 スローガン



連結業績ハイライト

受注高 33,081 百万円 (前期41,036百万円)	経常利益 282 百万円 (前期△1,295百万円)
売上高 36,445 百万円 (前期39,278百万円)	親会社株主に帰属する当期純利益 488 百万円 (前期△1,246百万円)
営業利益 398 百万円 (前期△1,216百万円)	1株当たり当期純利益 76.45 円 (前期△195.09円)

(注) △印は、損失を示しています。

第114期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

昨年の能登半島地震により被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

1 第114期の業績について、お聞かせください。

売上高は36,445百万円と前期比7.2%の減少となりました。ただ、損益面では、販売価格への転嫁や原価低減の取り組みが進んだことにより、営業利益は398百万円（前期 営業損失1,216百万円）となりました。経常利益は金利負担等により282百万円（前期 経常損失1,295百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却益の計上等により488百万円（前期 親会社株主に帰属する当期純損失1,246百万円）となりました。2024年度から2026年度をターゲットにした「中期経営計画2026」に基づき、採算性の改善を図り安定した利益の確保に向けた活動を展開してきました。その結果、営業部門の努力による販売価格の改定、生産技術、調達、製造部門における原価低減の効果が現れ6期ぶりの黒字となりました。

2 中期経営計画の方針と取り組みについて教えてください。

2024年度にスタートした中期経営計画2026は、津田駒再生計画「TSK26」と名付け、継続して安定した利益が確保できる事業体質を構築することを目標に、各部門で具体的な活動を掲げています。

繊維機械部門は、一般衣料、高級スポーツブランド、産業資材という三つをターゲットにして、それぞれ戦略を練ってきました。新型エアジェットルームのZAX001neo Plusを市場に投入し、インド、中国市場での需要掘り起こしを行います。



ITMA ASIA + CITME2024でお披露目した
新型エアジェットルームZAX001neo Plus

高級スポーツカジュアル分野は、中国の国内衣料ブランドの成長に伴い、ウオータジェットルー

トップインタビュー

ムを中心に大型案件の受注を取り込んでいます。また、欧米ブランドによる供給先の多角化、中国からの海外シフトに伴い、インド、バングラデシュでウォータージェットルームの新規参入案件を準備機とともに受注しました。産業資材分野は、エアバッグ、ガラス、タイヤコードを中心に年間250台を超える織機の販売実績ができ、準備機もエアバッグや医療素材から、パラシュート用途といった新たな分野での受注ができました。



ITMA ASIA + CITME2024での産業資材展示

工作機械関連部門は、Warm、Directに加えて、当社だけが供給できるBallという3つの駆動方式を持っている特長がありますが、更に第4の駆動方式を開発中です。お客様の用途に合わせて、様々な組合せで多軸NC円テーブルを設計して、最適な仕様を提案できるのが当社の強みですが、更にもう一つ駆動方式が加わることで、バリエーションが広がります。また、実績ができた自動車用ギア加

工機は、追加の御注文を頂いております。加えて、小型加工機、バリ取り機とニッチを狙った工作機械本体の開発も進めていきます。



小型加工機が展示されたJIMTOF2024

コンポジット機械部門も、昨年は内外でカーボン繊維用レピア織機CR3300の納入が進み、海外展示会を通じて新たな商談が続いています。航空機製造用のロボットを利用した積層機は、大手重工メーカー様との協同開発を継続していきます。また、航空宇宙や水素タンクなどに係わる基礎的な試験開発を研究機関と行っています。

製造部門では、生産技術部、調達部、品質保証部、そして技術部や販売部も一緒になって、改善活動「TAPS-Z」を推進しています。負荷の平準化、作業の標準化を進めて、生産効率を上げることを目指しています。社内の工程集約や標準時間を短縮することで、コストダウン、納期短縮を図って

いきます。

管理部門では、これまでの企業風土を変え、組織体制を見直して活性化を進めることを目的として、人事制度改革、DXによる業務の効率化、SDGs活動を具体的に進めます。働き甲斐があり、社員の成長を支援する制度、頑張った人や挑戦した人が報われる制度の構築を進めます。また、全事業部門で原価の予実管理を徹底して、原価低減を推し進めると共に、適正価格への改善に継続して取り組んでいきます。



ジェットルームの組立ラインは安定した生産が続く

3 2025年度の見通しをお聞かせください。

2024年度の受注高は33,081百万円と前期比19.4%減少となり、あまり良いスタートとは言えません。しかし現在は受注を積み上げており、一年を通じて安定的な生産が見込まれると考えています。

また新たな取り組みとして、繊維機械事業では産業資材の分野で、工作機械関連事業では特注製品や新製品で市場の開拓を行います。トランプ政権や世界各地での紛争、気候変動など不安定な要素は多々ありますが、我々は「TSK26」で計画したことを成し遂げれば全く心配することはないと自信を持っております。既存事業の強化と新たな事業戦略を推進して、徹底して利益重視への意識改革を行い、営業利益、営業キャッシュ・フローを改善して、財務基盤の再生と強化を果たします。

2025年度の売上高は38,000百万円、営業利益900百万円、経常利益700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円を予定します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解・ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

事業別の状況

繊維機械事業

受注高	27,763	百万円（前期比22.1%減少）
売上高	30,867	百万円（前期比8.0%減少）
営業利益	911	百万円（前期△810百万円）

工作機械関連事業

受注高	5,317	百万円（前期比1.8%減少）
売上高	5,577	百万円（前期比2.7%減少）
営業利益	555	百万円（前期657百万円）

連結財務データ

連結貸借対照表（単位：百万円）

科 目	前 期 令和5年11月30日現在	当 期 令和6年11月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	19,793	19,140
固定資産	11,541	11,111
有形固定資産	7,779	7,363
無形固定資産	302	106
投資その他の資産	3,459	3,642
資 産 合 計	31,334	30,252
負 債 の 部		
流動負債	21,187	20,386
固定負債	8,031	7,017
負 債 合 計	29,218	27,404
純 資 産 の 部		
株主資本	793	1,281
その他の包括利益累計額	1,194	1,435
非支配株主持分	127	131
純 資 産 合 計	2,115	2,848
負債純資産合計	31,334	30,252

連結損益計算書（単位：百万円）

科 目	前期 令和 4年12月 1日から 令和 5年11月30日まで	当期 令和 5年12月 1日から 令和 6年11月30日まで
売上高	39,278	36,445
営業利益又は営業損失（△）	△1,216	398
経常利益又は経常損失（△）	△1,295	282
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	△1,092	683
当期純利益又は当期純損失（△）	△1,235	491
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,246	488

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

本社所在地	〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号	資本金	123億1,654万円
設立	昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）	従業員	748名
役員の状況（令和7年2月末日現在）			
代表取締役会長兼社長	高 納 伸 宏	繊維機械事業統括、法務・コンプライアンス室担当、TSUDAKOMA Europe s.r.l. 代表取締役	
代表取締役常務	北 野 浩 司	管理部門統括、輸出管理室長、ふあみーゆツダコマ株式会社 代表取締役	
取締役	寺 田 武 志	共和電機工業株式会社 代表取締役、津田駒機械設備（上海）有限公司 董事長、津田駒機械製造（常熟）有限公司 董事長	
取締役（社外）	大 河 哲 史	工作機械関連事業統括、ツダコマテクノサポート株式会社 代表取締役	
取締役（社外）	河 原 村 和 弘		
取締役（社外）	下 川 広 佳		
常勤監査役	長 谷 博 史		
常勤監査役	若 森 達 雄		
監査役（社外）	澁 谷 政 隆	（カジナイロン株式会社 代表取締役社長）	
監査役（社外）	梶 井 俊 和	製造第1部担当、品質保証部長	
執行役員	浅 室 井 哲 也	調達部担当、生産技術部担当、業務推進室担当、航空機部品推進室長	
執行役員	西 村 勲 志	準備機械技術部担当、コンポジット機械部長	
執行役員	北 川 登 志	知財・情報管理部長	
執行役員	松 岡 実 行	総務部長	
執行役員	石 原 英 興	製造部長	
執行役員	佐 藤 文 幸	経営企画室担当、繊維機械販売部長、TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED 代表取締役	
顧問	松 任 宏 一	ツダコマ・ゼネラル・サービス株式会社 代表取締役	
顧問	坂 井 一 仁	株式会社 T-Tech Japan 代表取締役	

株式の概況（令和6年11月30日現在）

株式の状況

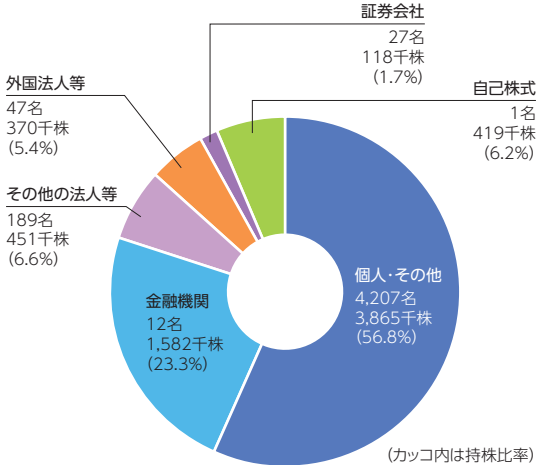
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
（内自己株式の数）	(419,917株)
③単元株式数	100株
④株主数	4,483名

大株主の状況

株 主 名	持株数（千株）
津田駒取引先持株会	1,303
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	613
UBS AG SINGAPORE	308
明治安田生命保険相互会社	280
株式会社北陸銀行	241
ツダコマ従業員持株会	210
東京海上日動火災保険株式会社	177
三井住友海上火災保険株式会社	114
株式会社北國銀行	50
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 北陸銀行口	50
再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	50

（注）当社の保有する自己株式419千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況



DREAM NAVIGATOR
SINCE 1909



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（スタンダード）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

ホームページのご案内
www.tsudakoma.co.jp

